

新理事プロフィール②

～新しく理事になられた先生をご紹介します～



なわ た しゅうご 理事
縄田 修吾 理事

◇宇部市医師会

◇産婦人科

今回、新たに山口県医師会理事に就任された縄田修吾先生をご紹介します。

先生は平成25年に宇部市で開業されましたが、開業の際に選ばれた土地は先生のご両親が先祖代々受け継いでこられた農地であったと伺っております。生粋の宇部っ子である先生が、生まれ育った宇部の地で地域医療に貢献していただいていることは、宇部市医師会としても大変誇らしく感じているところです。

先生は平成2年山口大学医学部のご卒業で、ご卒業後はすぐに山口大学医学部産婦人科に入局され、総合病院社会保険徳山中央病院や山口大学医学部附属病院で研鑽を積み、特に婦人科腫瘍の分野での研究を継続しておられます。平成18年からの1年間は米国のベイラー医科大学への留学も経験され、平成12年には日本分子腫瘍マーカー研究会での奨励賞、平成13年には日本電気泳動学会の奨励賞を受賞されるなど、輝かしい研究歴をお持ちです。平成25年のご開業後も山口大学医学部産婦人科学特命准教授として、山口大学医学部附属病院をはじめとした高次病院との診療連携を維持しながら、高度な婦人科医療を地域住民に還元していただいております。また、子宮頸部異形成に対する日帰り婦人科手術など、なかなか高次病院では行うことのできない診療にも積

極的に取り組んでおられます。

先生のクリニックは、先生が担当される婦人科部門と、先生の奥様が担当される内科・循環器部門を併せ持った施設で、ご夫婦がそれぞれの専門性を活かすと同時に、互いにうまく連携しながら診療を継続しておられます。これまでの医師会内での先生のご発言から、常に周囲との連携を意識しながら、最善の方向を模索することが先生の基本であるように感じております。また、先生は医療関係者のみではなく、ご自身が開業された地域の自治会や地域住民の方々とのつながりも強く意識しておられると伺っております。

この度就任されました山口県医師会理事としても、先生は周囲の人材と有機的な関係をいち早く構築され、山口県医師会にしっかりと貢献されることを確信しております。山口県医師会理事としてさらに大所高所からの見地を身につけられることにより、先生が今後更に活躍されることを祈念しております。

〔記：宇部市医師会長 黒川 泰〕